

星のたより

2024(令和6)年
6月号
Vol. 357

さじアストロパーク30周年記念事業のご案内

1994年7月にオープンしたさじアストロパークは、今年で30周年を迎えます。これまでたくさんの方にご利用いただき、ありがとうございます。30周年記念の期間展示では、30年間の天文現象や出来事のほかに、佐治小学校児童のみなさんの絵や、30年前の佐治村の写真も展示します。また恒例イベントの「星まつり」は7月27日(土)におこないますので、みなさまぜひご参加ください。



30年前に撮影した星空

☆今月の豆知識☆
え と(干支)の中には、星座になっている動物がたくさんあるんだって。今年「辰(たつ)年」で竜だけど、星空には「りゅう座」があるんだよ。今ごろだったら北東の空から北の空のあたりだよ。「ベガ」の近くが竜の頭、しっぽは「北斗七星」と北極星の間のあたりだから、星図を見ながらたどってみてね。西の空の「しし座」はイノシシじゃなくてライオンの星座だから間違えないでね。



① 記念講演会

講師：津田雄一さん(探査機「はやぶさ2」プロジェクトマネージャー)

日時：8月18日(日) 13:30~15:30

② プラネタリウム30周年記念番組 期間中、2本の番組を上映します

期間：7月18日(木)~12月1日(日)

番組：①宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム

②プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる! 2

③ 鳥取市さじアストロパークで発見した小惑星への命名

募集期間：5月22日(水)~8月31日(土)

④ 期間展示「鳥取市さじアストロパーク 30年の歩み」

期間：7月18日(木)~12月1日(日)

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。

公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「第30回星景写真コンテスト入賞作品展」3月20日(水・祝)~7月15日(月・祝)
星と風景がいっしょに写った写真のコンテストで入賞した作品を展示しています。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え2」
2月21日(水)~7月15日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆6月のテーマとおすすめ情報

満天の星とおとめ座のソンプレロ銀河	1(土)
満天の星とかみのけ座の黒目銀河 M64	7(金)、8(土)
月の撮影にチャレンジ	14(金)、15(土)
おとめ座の一等星スピカ	21(金)、22(土)
満天の星とりょうけん座の子持ち銀河	28(金)、29(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(土)~9(日)、25(火)~30(日)
観望会で月がよく見える	11(火)~18(火)



ソンプレロ銀河



☆6月の休館日 3(月)、10(月)、17(月)、18(火)、24(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

後半のテーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え2」

さじアストロパークのオリジナル番組「宇宙の疑問にズバリお答え」の好評につき第2弾を投影中です。宇宙の疑問「星はどれくらい遠くにあるの？」について、星までの距離の測り方をわかりやすくご紹介します。

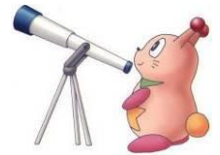
投影期間：2月21日(水)～7月15日(月・祝)



プラネタリウム・天体観察会
どちらも定員40名で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



6月の注目天体情報

☆ 小さな星座(りょうけん座・かみのけ座)

「おおぐま座」や「おとめ座」など春の大きな星座の隙間に「りょうけん座」「かみのけ座」という小さな星座が隠れています。この二つの星座には明るい星がなくてさがすのは一苦労です。北斗七星やうしかい座のアルクトゥルスから探してみてください。

北斗七星の南側にある「りょうけん座」は、もとはおおぐま座の一部でしたが、17世紀にヘベリウスが新しい星座としたものです。3等星のα星「コル・カロリ」は望遠鏡ではきれいな二重星として見ることができます。アルクトゥルスの西側にある「かみのけ座」は、紀元前3世紀ごろのギリシャ時代にはすでに存在していた星座で、エジプトの王妃ベレニケのかみの毛と呼ばれていました。しかし、2世紀ごろには姿を消してしまい、17世紀になってティコ・ブラーエがかみのけ座として復活させた星座です。



☆ 銀河を見よう M51(りょうけん座)・M64(かみのけ座)

「りょうけん座」「かみのけ座」のあたりは宇宙の窓とも呼ばれる場所で、遠くの銀河がたくさんあります。りょうけん座にあるM51は別名「子持ち銀河」と呼ばれ、渦巻銀河のすぐ横に小さな銀河がくっついていて、かみのけ座にあるM64は別名「黒目銀河」と呼ばれています。銀河中央付近の暗黒帯が黒くて目玉のように見えるためです。103cm大型望遠鏡での銀河の観察は、よく晴れた月明かりのない夜がおすすです。

M51 距離：2800万光年、明るさ：9.0等

M64 距離：1730万光年、明るさ：9.4等



M51



M64

期間展示と七夕イベント情報

現在、佐治天文台1階ロビーにて「第30回星景写真コンテスト入賞作品展」を行っています。また、7月には七夕のイベントを行います。今回は、期間展示と七夕イベントの情報をお知らせします。

星景写真とは



第30回記念賞

星景写真とは、星と風景が写った写真をいいます。撮影に必要なのは、デジタルカメラと三脚です。カメラは一眼レフカメラを使いますが、最近ではコンパクトデジタルカメラでも星を撮影できる機種もあります。また、手軽に始めるにはスマートフォンがおすすめです。最近の機種では星の写真が撮れるものが増えています。撮影では、構図や撮りたい星、季節をどう組み合わせるか、など色々ありますが、まずは1枚、実際に撮影してみてください。そして、お気に入りの1枚があれば、今年

も星景写真コンテストを開催しますので、是非ご応募ください。

期間展示

現在、佐治天文台1階ロビーにおいて「第30回星景写真コンテスト入賞作品展」を行っています。今回は30回記念のコンテストです。全国からたくさんの方の素晴らしい作品が集まりました。その中で選ばれた15点を展示しています。その作品の中には、スマートフォンで撮影された作品もあります。

展示期間は7月15日(月・祝)までとなっています。ご覧になっていない方は、ぜひお早めにご覧ください。



七夕イベント情報



7月7日は七夕です。そこで、7月6日(土)、7日(日)の2日間、午後8時より **宇宙ふしぎ探検「七夕の星を見よう」**を行います。お願い事を短冊に書いてみましょう。月は6日が午後8時3分、7日は午後8時44分に沈みます。月明りの影響はありません。天の川を見るチャンスです。また、4階の103cm大型望遠鏡で見ごろの天体を見ます。天候不良時は、プラネタリウムで星のお話や七夕物語を見

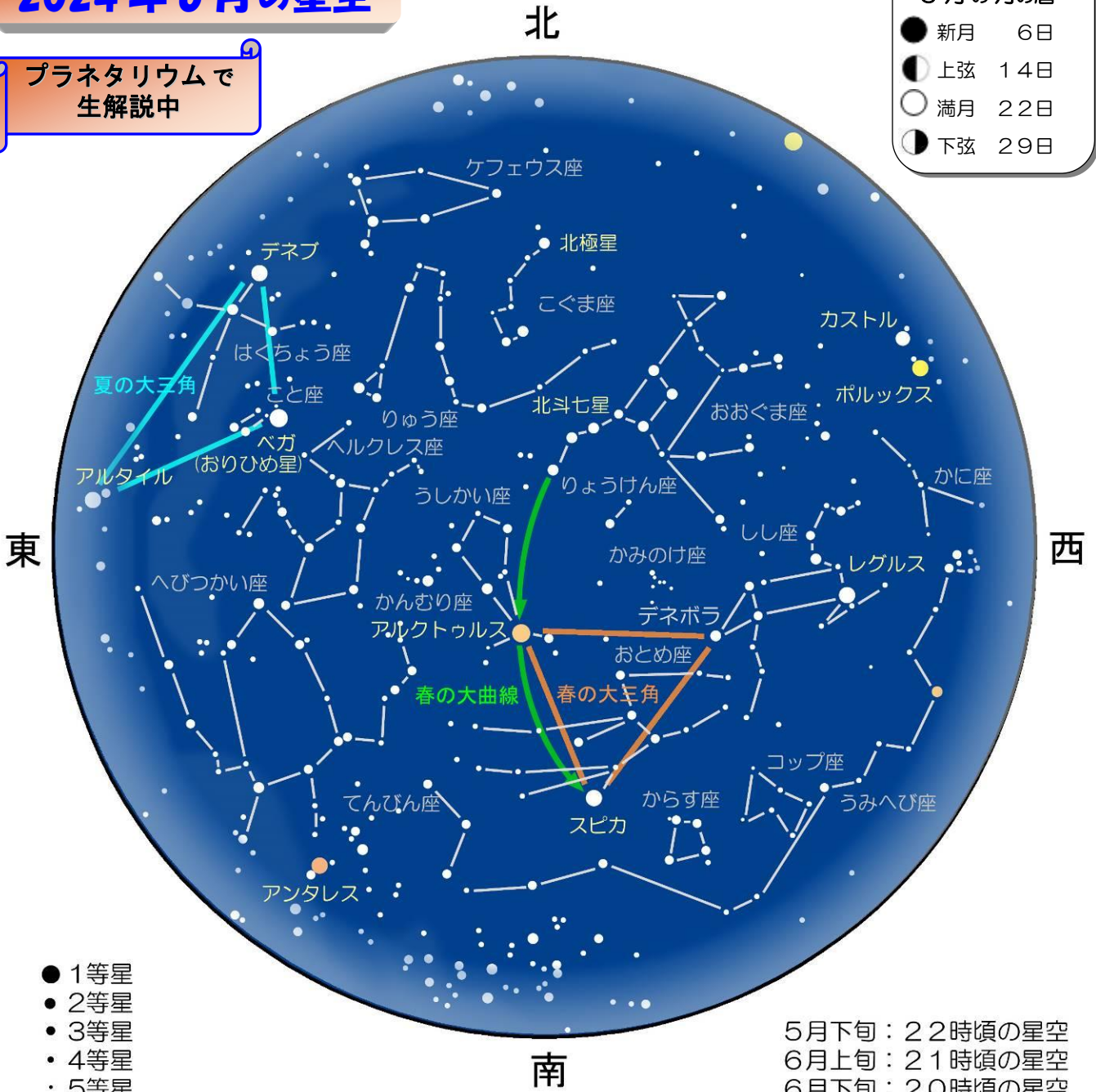
ます。参加希望の方は、さじアストロパークまでご連絡ください。

2024年6月の星空

6月の月の暦

●	新月	6日
◐	上弦	14日
○	満月	22日
◑	下弦	29日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

5月下旬：22時頃の星空
6月上旬：21時頃の星空
6月下旬：20時頃の星空

☆6月になると昼間の時間が長くなり、さらに梅雨空で晴天率も悪くなるので星空を楽しむ機会が少なくなってしまいます。貴重な「梅雨の晴れ間」を逃さず星空を見上げましょう。

☆南の空には「春の大三角」が見えています。2つの1等星「アルクトゥルス」「スピカ」と2等星「デネボラ」でできる三角です。「北斗七星」が先に見つかったら、「春の大曲線」で2つの1等星をたどることもできます。アルクトゥルスの近くには「かんむり座」があります。小さな星座ですが半円のような形が特徴的です。かんむり座T星(T CrB)という変光星がもうすぐ明るくなるかも？ と話題になっています。明るい星が現れていないか、かんむり座が見えているときはチェックしておきましょう。東の空には早くも「夏の大三角」が昇ってきました。真夜中ごろには天の川も見ることができます。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp